

取締役社長
神 健彦取締役社長
神 健彦

【事業計画名】 特許機構採用で 稀少形状デザインパッケージの受注強化

背景・目的

試作品の質を向上させ、訴求力アップを目指したい

当社は、チラシやポスターなどの広告媒体のデザイン制作・印刷を行う会社です。近年では平面への印刷に限定せず、自社デザイナーによるパッケージデザインや店頭販促ツールのデザイン制作なども手がけております。医薬部外品・化粧品を含む製品はデザイン・印刷のほか、箱詰め・封入、梱包作

業までの代行を一貫した受注体制で行い、お客様より高い評価をいただいています。

パッケージデザインの制作では、デザインを落とし込んだ試作品をスピーディに提案することが必須条件です。しかし当社には、立体物の試作品を制作できる設備がなく、紙面上での平面

デザインの提案か、デザイナー自らがカッターなど使い、切り抜いて組み立てます。精度の高い試作品は社外に外注することもあります。結果、時間などの関係で訴求力の低い提案となってしまう、受注を逃してしまうことが課題となっていました。

実施内容

デジタルフィニッシングシステムの導入

パッケージの試作品制作をよりスピーディに行うため、デジタルフィニッシングシステム一式を導入しました。導入した機器は様々な用途に対応できるマルチカッティングマシンで、付属のPCでデザイナーが制作したCADデータを読み込み、デザインの印刷、

カッティング、折り加工などを加えることが可能です。資材は紙、PP/PET、ハレパネ、カッティングシート、段ボールなど、パッケージや紙製什器などに使用される資材全般が加工可能なので、幅広いパッケージデザインの提案が実現できます。



事業成果

試作品の制作スピードが格段にアップ

デジタルフィニッシングシステムを導入したことにより、それまでデザイナーが手作業で1日がかかりだった試作品づくりが、1時間程度にまで短縮できました。制作スピードがアップしたことで、受注の増加にもつながっています。また、内製化できたことで試作品づくりの外注依頼も少なくなり、コスト削減にもつながっています。

試作品の精度も向上し、実際に印刷納品するパッケージにかなり近い品質

の試作品をお客様に提案できるようになりました。



ココがポイント

特許技術「トムロック」も試作サンプルで受注強化

当社で取得している特許技術「トムロック」は、箱を組み立てるとロックされる（開封口を破かない限り中身を取り出せない）機構です。この機構により、製品梱包時に封かんシールを貼る必要がなくなるため、梱包コストを削減できるというメリットがあります。

今後は**特殊形状で精密さが要求されるような試作品も制作可能**となったため、特許技術「トムロック」がスムーズに提案でき、**高い付加価値を提供できる**ようになりました。



今後の展望

パッケージをはじめとする印刷物で、さらなる商品価値を提案

チラシやポスターなどの紙媒体を用いた宣伝需要は、インターネットの普及により年々減少している現状があります。当社ではパッケージや販促ツールなどの平面にとらわれない製品を積極的に提案していくことが商機であると認識しています。

また、当社の受注状況は関東圏が4割、東北圏が6割であり、商品パッケージの制作や梱包・発送作業までの一貫した業務、特許技術「トムロック」が

提案できることが強みでもあります。

今後は商品に関連した印刷物を包括的にマネジメント提案することが必要となりますし、関東圏の協力会社を通じて幅広い受注に対応していくことも求められます。

これらを実現するためにも、関東圏での営業力の強化と、社内での専門職（デザイナー、オペレーター、校正、校閲など）の育成を強化していきます。当社にはデザイナーが10名所属し

ていますが、平面のデザイナー、立体のデザイナー、それぞれの持ち味を活かした仕事ができるように環境を整えていくことで、若手デザイナーの早期育成や地域の雇用を守ることにもつながりたいと考えています。



凸版メディア株式会社

代表取締役社長 田中 真人
取締役社長 神 健彦
◎創業 昭和26年 ◎資本金 5,000万円 ◎従業員 104名

〒036-8061 弘前市神田3丁目1番地
TEL.0172-36-6111 FAX.0172-33-5546
URL: <http://www.toppa-media.co.jp/>

